

令和5年度ノーリフティングケア普及促進事業 実践報告

小さな施設の大きな挑戦



有限会社 桃李
グループホームくもじ



施設紹介

- 地域密着型認知症対応型共同生活介護 18床
グループ会社) グループホーム3ユニット(27床)
デイサービス2事業所・サービス付き高齢者住宅20床
- 遠賀川の河口近くにある2階建て・2ユニット
- スタッフ 介護職16名 看護職1名 計17名 (全員女性スタッフ)
- スタッフの平均年齢 52.8歳
- 2002年に開設。当初は歩ける利用者様がほとんどであったが、現在は8割程度が車椅子使用。看取り介護もおこなっているため重度の方も入所されている。



ノーリフティングケアとの出会い

- 5月に福祉用具の展示・体験ができる「ノーリフティングケアフェスin筑後」にスタッフ2名と会社代表と参加

色々な福祉用具があるんだ～うちの施設では抱え上げるのが当たり前で、全く使ってないなあ・・・



スタッフA・スタッフB



社長

今後、導入する事も考えて福岡県の普及促進事業に参加してみたら？

スタッフの年齢層も高く、腰痛保持者も多いし・・・

「よし！やってみるか」と応募



ノーリフティング委員会始動！

- 統括マネージャー：施設長
- 健康管理： 看護師
- プランニング： ケアマネージャー
- 教育： 2階リーダー
- 福祉用具： 介護スタッフ



スタッフが少なくて正職員
ほぼ全員がコアメンバー

そして、初めての**マネジメント研修**参加。

zoomの先には広い会議室・たくさんのメンバーで研修を受ける他施設の方々。

それに比べ、狭い事務所で何とか勤務調整のできた2名で研修を受ける私達。





小規模だからこそその強みを生かそう！

- マネジメント研修にて実施計画を考えていると、講師の方からアドバイスをもらう。

小規模だからこそ
できるんですよ！



そうか！アンケート集計・情報の伝達もスムーズ、ケアの統一もしやすい。強みを生かしてくもじらしいノーリフティングケアをすすめていこう



職員教育



少しでも楽しんでもらえるように

少人数なので技術研修に参加したスタッフから全スタッフに個別指導行える

個人用のチェック表ファイルに手作りのネームキーホルダーを作成

予定通り順調に指導すすんでいる

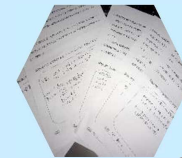


業務のすきま時間を使い勤務時間内に指導行っている



リスクマネジメント

初回はスタッフ全員にリスクを抽出してもらった

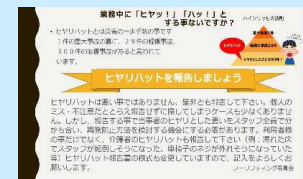


集計・分析し対策を考え
掲示板にてお知らせ



今後はスタッフ1人1人が自らリスクを見つけ、上げてもらえるようヒヤリハット報告書の様式を見直し、作成

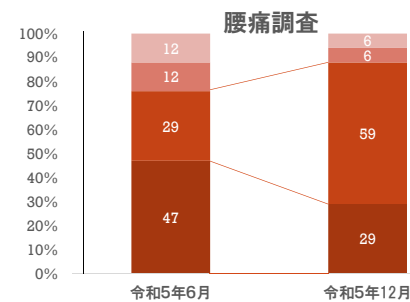
提出意義の啓発ポスターを作成し事務所に掲示
ケアカンファレンスでも伝達し運用開始



ラウンドチェック表も作成し1回目ラウンド行う



健康管理



腰痛のないスタッフが退職し、腰痛のあるスタッフが入職したので割合が増加

常に痛い・またはよく痛みがある状態から、時々痛いに移行したスタッフが増加

痛みの程度についても軽くなっていると答えたスタッフが増加している。

- 常に痛い・またはよく痛みがある
- 時々痛い
- 腰が疲れやすい
- 全く痛まない



施設内に掲示した「これだけ体操」約8割のスタッフが行っていると回答。腰痛アンケートでも、腰痛対策に「体操を行う」「姿勢に気をつける」「ノーリフティング研修の実技指導を受けた事を実施する」が追加された。

福祉用具

開始当初0だった福祉用具も...



スライディングシート3枚・ボード1枚・グローブ ディスポ1箱・跳ね上げ式車椅子2台

まずは1名の利用者様に利用開始

Before



スタッフ2名で抱え上げズボンを引っぱり、それでも車椅子のアームレストに引っ掛かる事も...

After



跳ね上げ式車椅子
スライディング
ボード使用

こりやあ楽やな

抱え上げによってできていた表皮剥離がなくなった

スタッフの反応

1 2月の腰痛調査時に、独自のアンケートも行いスタッフの意識調査を行った



実技指導を受けてみて力の弱い自分でも少しの力で寝返り等が楽にできてびっくりした。技術を身に付けていきたい。



リスクについて上司に相談できるので、色々助言や解決策が見出されて心強い。

実技の内容に慣れるまでに時間がかかる。ゆっくりと一人の利用者さんに時間が取れない



利用者さんの認知レベルで対応が難しく、ノーリフティングケアを取り入れられない



ノーリフティングケアに対して否定的な感想は少なく、技術を学び向上させたいと思っているスタッフが多かった。しかし、その技術を日々の業務に活かしていけるのか不安に感じているスタッフも見受けられた

まとめ

- ノーリフティングケアの事もよく知らず、福祉用具ゼロの状態からスタートした小さな施設の今回の取り組み...「うちは小規模だから...」とマイナスに感じていた部分をプラスに捉えチームワークを活かし「**くもじらしいノーリフティングケア**」に取り組んだ

今年度は

ノーリフティングケアの周知
福祉用具の種類と活用方法
リスクマネジメントに対する意識向上

ノーリフティングケアの地盤が出来た



取り組んでわかった事

認知症対応型グループホームと言う特性から重度の認知症で介護拒否の強い方へのノーリフティングケアの活用が難しいと感じた今後、利用者様との関わり方を振り返り有効な活用方法を見出さなければならぬと感じた

今後の課題

- 福祉用具の充実
- 重度認知症の方へのノーリフティングケア活用方法

スタッフ全員がノーリフティングを

活用したケアをおこなう

スタッフ全体にノーリフティングへの

意識を高めていく

ノーリフティングでの

成功体験を皆に感じてもらう

2年目もくもじらしく一歩ずつ前にすすみノーリフティングケアを普及していきたいと思ひます！